



提灯みこし (高木瀬ふれあい夏まつりのシンボル)

高木瀬まち協だより

発行：高木瀬まちづくり協議会 お問合せ先：高木瀬公民館
電話・FAX0952-31-3400

本 部 【令和4年度・令和5年度活動報告】 「この2年を振り返って」

高木瀬まちづくり協議会
会長 阿間見 健

令和5年度の終わりにあたり一言ご挨拶申しあげます。日頃から、皆様には高木瀬まちづくり協議会へのご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

さて、私の2期目である令和4、5年度の2年間で振り返りますと、4年度はまだまだ新型コロナウイルス感染症のため思うような活動ができませんでした。しかしながら5年度早々に5類感染症と位置付けが変更なり、コロナ禍も落ち着きを見せ始めました。

このような中、本部としましては、目的達成のため3部会ともども次のような取組みを行いました。

令和4年まち協本部では、高木瀬の魅力発見と住民の皆様の健康づくりに役立てるため、「歴史散歩マップ」の作成を検討し、編集委員を公募して、基礎データを収集し、5名の公募委員さんと外部から郷土歴史家の金子信二さんを交えて編集方針と今後の日程を定め編集会議を行いました。1月にはコロナ禍で中断しておりました「ほんげんぎょう」を実施することが出来ました。また2月20日(日)には前年に引き続き校区の環境美化に取り組むため、各自治公民館周辺の清掃を各自治会のご協力を得て実施することが出

来ました。

令和5年度は役員会での議論、部会間の連携、部会活動バックアップを行い、従来事業の充実、対外的には広報誌などのPRを行ってまいりました。新しい取組みとして「歴史散歩マップ」を作成し、皆様のお手元に届けることが出来ました。1月には前年に引き続き「ほんげんぎょう」も開催することが出来ました。防災部会では全自治会へ自主防災組織の設置、促進。昨年実施した防災減災意識調査結果に基づく報告書を各自治会への配布実施、水害への備え各自治会への土嚢の備蓄を予定、500袋の土嚢を配布出来た。子ども見守り部会では「ながら見守り」活動の推進、「子どもの居場所づくり」、「青パト巡回活動」等を実施して来ました。高齢者見守り部会では、認知症介護者への支援として「認知症サポーター養成講座」の開催を実施して来ました。

自治会長会では、まち協と協力して全住民を対象とした避難訓練を7月30日(日)高木瀬小学校で実施しました。参加は、800名を超える住民の方に参加いただいた、また参加者からいただいたアンケート調査の結果は今後の避難訓練の参考としたい。

8月にはコロナ禍で中断しておりました高木瀬「ふれあい夏まつり」開催し、住民の方に喜んでもらいました。今後も続けて行きたいと考えております。

2面 子ども見守り部会
令和4年度
令和5年度 活動実績報告

3面 高齢者見守り部会
令和4年度
令和5年度 活動実績報告

4面 防災部会
令和4年度
令和5年度 活動実績報告

子ども見守り部会

部会長 山口俊治

【令和4年度・令和5年度】

活動実績報告

高木瀬の子どもは
高木瀬地域
で守ろう

ご挨拶

少子高齢化といわれている中、喜ばしいことに年々増加傾向にある高木瀬校区はマンモス校となりつつあります。

地域には以前より子どもたちを見守る活動は行われていましたが、更に見守

り網の強化や密度を高めるための活動を検討してきました。

「ながら見守り」活動においては、多くの町民の皆様にご賛同いただきました。「地域の子どもの地域で守ろう」という地域住民型活動に新風を吹き込めたのではと考えています。

「ながら見守り」活動

令和4年度 登録累計 200人

令和5年度 登録累計 250人

令和4年度は、団体を巡回し約400人に活動内容を説明。9月3日説明会に約40人となり、10月末には200人超の登録者。11月7日「子どもみまもりたい」出発式開催。

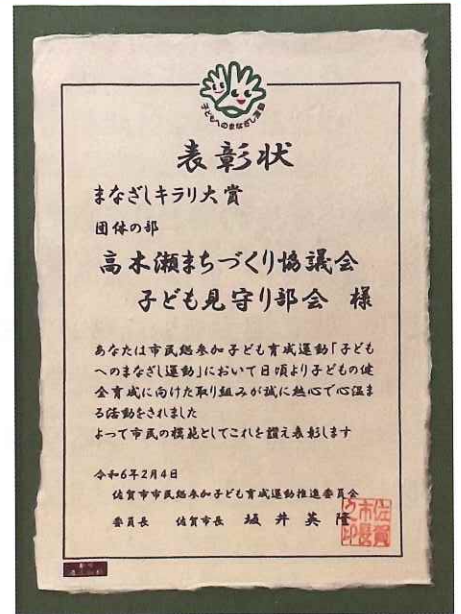
令和5年度、7月8日「ながら見守り活動参加(登録)者の集い」を開催し約60人参加。

祝 大賞受賞

「まなざしキラリ賞」団体の部

高木瀬まちづくり協議会
子ども見守り部会

「第39回佐賀市青少年健全育成推進大会・第16回子どもへのまなざし運動推進大会」において高木瀬まちづくり協議会子ども見守り部会が団体の部の大賞に選ばれ表彰式が令和6年2月4日(日)メートプラザ多目的ホールにて表彰式が行われました。



子ども居場所づくり

令和4年度 累計 470人

令和5年度 累計 285人

(12月現在)

高木瀬小学校の児童を対象に令和4年・令和5年累計18回開催。令和4年からは上高木公民館に加えて川原屋敷公民館・東高木公民館でも実施することになりました。ボランティアスタッフには校区内有志・佐賀大学・西九州短期大学・北陵高校に協力頂いています。

私の名前は「Blueパト car むつさん」

ぶるぱとかあ むつさん



高木瀬校区内を巡回している青パトにニックネームと標語を募集しました。ニックネーム287件。標語218件の応募がありました。

ニックネーム大賞を受賞した諸隈彩花さんと諸隈美晴さん姉妹は「青色パトカーで毎日、高木瀬校区を見守っていただきありがとうございます。佐賀県警のシンボルマスコット『ごろうさ

ん』は佐賀県の生き物の『むつごろろう』をモチーフにしているそうです。青色パトカーの地域の皆さんプラス佐賀県警のおかげで私たちは安心安全に暮らしています。だから名づけました」と気持ちを伝えてくれました。表彰式は令和6年2月6日に行いました。

表彰式後「むつさあん」と子どもたちが声掛けをしました。

青パト巡回活動

令和4年度 令和5年度

15自治区・各種団体

青パト講習会実施

令和5年度まで青パト講習受講累計人数286人

【佐賀北警察署 生活安全課】



高齢者見守り部会

部会長 堀 恵子

【令和4年度・令和5年度】

活動実績報告

認知症になっても
安心して
暮らせる地域

ご挨拶

牛島前部会長の残任期、後任部会長を拝命し活動を行ってきました。

活動の基本方針「認知症になっても安心して暮らせる地域」をもとに展開を図ってまいりました。

コロナ禍による活動自粛

期間はありましたが、検討委員会を軸に開催した研修会や集会等での喜びの声。また「知」がつながり「人」との繋がりを実感いたしました。

部会独自の活動を幾重にも重ねることが町民の皆さまの笑顔につながることを確信しております。

認知症の人やその家族支援者の交流会

令和4年度 開催1回 20人 令和5年度 開催2回 54人

認知症になっても安心して暮らせる地域とは一。もう一步踏み込んで、認知症の方やその家族支援者に寄り添う事も安心して繋がるのではないかと前年度より熟考を重ねてきました。



みんなで勝ち負け「じゃんけんポン」

新たな取り組みでしたが、参加者から好評を得られました。

令和5年度は、安定した人数の参加を得られています。

今年度2回目を2月24日に開催。30人の参加者となりました。継続開催したことで拠り所となる会合になりつつあります。

令和4年度、新たな取り組みでもあり、他校区の事例も少ないなか不安材料もありました。まずは知っていただく事を優先し、各種団体に案内・各公民館にはポスター貼付、また広報誌等でPRを行いました。

キッズサポーター養成講座

令和4年度 約140人 令和5年度 約140人

地域の子ども達に認知症の正しい理解や心構えなどを理解してもらい、地域の力になっていただきたく令和2年よりおたっしや本舗城北のご協力のもと高木瀬小学校4年生を対象に開催しています。

コロナ禍により開催自粛していましたが、令和4年度は久しぶりの開催でしたが、熱心な姿勢で受講。質問タイムには、約20人の生徒が挙手。「認知症は治る病気ですか」「年齢に関係なく、なる病気ですか」等、お友達の質問から更なる問いが生じ、「え！そしたら…」との声も上がり講座内容を深く理解しよ

小学生サポーター
累計約**420**人



観劇の様子

うとする姿も見られました。

令和5年度は、講座プラス実際のイメージを高めるため寸劇を実施しました。急遽、小学生役に小川理貴さんをお願いする事となり、子供たちは身を乗り出し真剣な面持ちで観劇していました。

サポーター養成講座

令和4年度 5地区4団体

令和4年度 食改善・民協・長生会・ボランティア高木瀬【自治会】辻・川原屋敷・寄人・上高木・東高木

研修会

令和5年度 開催1回 参加76人

令和5年度
佐賀リハビリテーション病院
医局長 南里悠介氏

視察研修

令和5年度 開催1回

令和5年度 認知症カフェ
神野公民館
だいでんこねカフェ

高齢者見守り部会

令和4年度 開催3回 55人

令和5年度 開催2回 36人
【令和6年2月現在】

検討委員会

令和4年度 開催2回

令和5年度 開催2回

令和4年度に新たに設置した検討委員会も定着し、事業実施までの効率化が図れました。

また各種団体から参加された方々の意見を広く聞く体制のもと様々な情報を集めながら部会運営をすることが出来ました。

防災部会

部会長 原口達夫

【令和4年度・令和5年度】活動実績報告

備えあれば憂いなし

緊急連絡網体制整備
避難訓練計画支援
自主防災組織校区組成
「火の用心」夜回り運動
「防災士」養成
女性消防団組成

ご挨拶

令和6年能登半島地震により被災された皆さまに、並びにそのご家族関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

頻発化する激甚災害に対する防災・減災への対応を考慮した事業計画をし展開をまいりました。

【自助】【共助】【公助】に基づき、「備えあれば憂いなし」の諺にあるように住民の皆さまへ日頃から防災・減災に対する関心を高く持ってもらう啓蒙活動を自治体との協力を得ながら行い。

災害に強い街、住民同士が手を取り合う優しい防災の街を目指し、

新規事業を織り交ぜて防災・減災体制の強化をはかってきました。

広域的な事業では緊急連絡網体制整備・避難訓練計画支援、また水害時期に備え、土嚢を必要とする各自治区へ配布を行いました。

自主防災組織については、各自治区での高齢化に伴い校区組成にむけての意見交換を実施。

狭域的な事業として、子どもたちへの防災・減災への啓蒙として夜回り活動を2地区で実施することとなり、親子、地域の人々、自治会、消防団とタグを組んでの活動。

高木瀬ならではの防災・減災「備えあれば憂いなし」の第一弾が実施できたと確信しております。

防災部会研修会 2月10日

災害時・避難生活のヒント 参加者
備蓄品・トイレ用品等々 40人

住民の皆様からの要望多数により、佐賀県防災士会の柴田旬道氏を再度講師にむかえ、研修会を実施しました。

減災グッズの3ステップとして、0次の備え【いつもケータイ!】1次の備え【非常持ち出し品】、2次の備え【安心ストック】があり、実際に講師自身のバックから携帯している物の利便性や汎用性も織り交ぜた内容は生活に密着しており、また能登半島地震から得る情報や映像から、深く分析し、対岸の火事ではなく、自分事として考える重要性を強く訴えられました。

夜回り運動 冬休みバージョン

親子で参加
拍子木の音、上高木に響きわたる

第2弾、冬休み期間を利用し、子ども会、自治会、学校の協力を得て12月23日、1月30日、1月6日の3日間、実施しました。

午後7時から30分、上高木地区を親子、消防団、近所の人々と「火の用心」の掛け声と拍子木をうち巡回しました。3日間の延べ人数は60人でした。



掛け声と拍子木を打つ様子

編集後記

「みんなで支えあう住みやすいまち高木瀬」のスローガンに沿った価値の向上や高木瀬の魅力を発信する媒体作成を目的とし編集委員5名で活動をしてまいりました。

広報誌においては、部会活動報告の発信だけにとどめず、構成員を住民の皆さんとして、住民同士の横の繋がりも意識し企画推進。

「高木瀬の人」「特集高木瀬の町活動」においては、取材や資料提示のご協力頂き誠に有難うございました。

多くの方から「今後も高木瀬町の為に尽力したいので、いつでもお声かけください」と高木瀬愛にあふれる言葉を頂き制作に奮起することも多々ございました。

広報誌による高木瀬町の価値の向上、また多数のチラシやポスターの制作・発行にも取り組むことが出来、年四回発行プラスαのPR活動が出来ました。

発行物においては、市内外から大変な評価頂いております。これも一重にご協力頂いた皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。

編集委員一同



防災部会

令和4年度 開催 2回

検討委員会

令和5年度 開催 2回

研修会

令和4年度 開催 1回

令和5年度 開催 2回

意識調査報告会

令和4年度 平尾地区

団体構成員 自治会長会 社会福祉協議会 青少年健全育成協議会 長生会 消防団高木瀬分団 スポーツ協会
交通安全協会・交通安全指導員 民生児童委員協議会 高木瀬小学校PTA ボランティア高木瀬 自治公民館館長会
城北中学校PTA 子ども会 高木瀬を愛する会 少年育成委員 身障者福祉協会 食生活改善推進協議会 日の出交番
高木瀬小学校 城北中学校 北陵高等学校 おたっしや本舗城北 高木瀬公民館 規約第2条の目的に賛同する者